



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

令和5年10月1日発行

あい風通信

58号

(学びのスタンプ通算65号)

いしかり市民カレッジが15周年を迎えました

運営委員長 山田 治己

平成21年4月にいしかり市民カレッジを開校し15年目を迎えます。令和4年度までの14年間で、主催講座200、まちの先生企画講座50、合わせて250講座を実施しました。この間の受講者数は21,300人となり、多くの市民の方々に受講いただきました。まさしく関係者の皆様のご理解とご支援の賜物です。しかし、令和2年からの新型コロナウイルスの感染拡大により講座の中止や延期を余儀なくされました。感染防止の対策を進めながらできる講座を実施してきましたが、令和2年・令和3年は480人程度の参加にとどまりました。

15年目を迎えた今年はコロナ禍前と同じ体制で講座を実施しています。開校15周年記念行事を行うため、現在、記念特別講座などその準備を進めておりますが、ご期待に添える記念行事となりますよう努めておりますので皆様のご理解をお願いいたします。

学びを通じて市民の生きがいを高めるというカレッジの理念を継承し、これからも進めていきます。

開校15周年記念特別講座

演題 「江戸期から明治期における石狩の歴史について知ろう ～村山家の資料をとおして～」

講師 石狩市郷土研究会会長 村山 耀一

日時 10月24日(火) 10:00~11:30 ※開催時間にご注意ください

場所：石狩市花川北コミュニティセンター ※参加料は無料です。申込は10月10日までに事務局へ

◇石狩市指定文化財第1号の石狩弁天社や幕府に献上されたという寒塩引きは村山家とのかかわりがあり、村山家は松前藩のもと宝永3(1706)年に石狩場所を請け負い、初めて鮭漁を行っています。最盛期には蝦夷地の35場所を請け負っていました。

この度は村山家の10代目の子孫にあたる村山耀一さんに村山家の資料をとおして、江戸期から明治期までの石狩の歴史を語っていただきます。

主催講座

講座11 「ラッコと鯨が招いた日本開国史～北からの黒船、開国を迫る～」 ☆教養・文化コース

講師 北海道史研究家・ノンフィクション作家 森山 祐吾

第1回 「ロシアのラッコ猟問題から始まった日本開国史(その1)」

日時 11月4日(土) 10:30~12:00

第2回 「ロシアのラッコ猟問題から始まった日本開国史(その2)」

日時 11月11日(土) 10:00~11:30 ※時間帯が異なります

第3回 「アメリカ捕鯨船の難破問題から始まった日本開国史(その1)」

日時 11月18日(土) 10:30~12:00

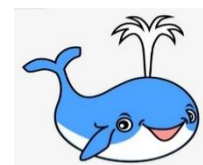
第4回 「アメリカ捕鯨船の難破問題から始まった日本開国史(その2)」

日時 11月25日(土) 10:30~12:00

場所 いずれも石狩市花川北コミュニティセンター

◇近代日本の原点ともいえる幕末開国。来年は1854年の開国からちょうど170周年を迎えます。とかくアメリカから来航したペリーの圧力を中心に語られることが多い日本開国の歴史。

しかし、その100年も前からロシアの蝦夷地接近があり、やがて通商と開国を強く求めるようになりました。ロシア・アメリカはなぜ日本の開国を求めたのか。改めて、開国に向けた両国の対外事情と日本の対応について、北海道史研究家から分かりやすい解説を頂き、同時にタイムスリップして二つの視点からその歴史的背景を学びます。



まちの先生企画講座

講座3 「自分だけのハンドメイド雑貨」

講師 来重 真弓

第1回 「壁掛けドライフラワー」

日時 11月 7日(火) 10:30~12:00 ※材料費 600円

第2回 「手縫いで作る三角鍋つかみ」

日時 11月 21日(火) 10:30~12:00 ※材料費 500円

場所 いずれも石狩市民図書館 視聴覚室

◇ ハンドメイドに挑戦しませんか？

誰でも短時間で簡単にできるDIY。ペイントやグルーガンを使用し自由にアレンジする壁掛け、キッチンに置いてあるだけでもかわいい手縫いで作る鍋つかみ(2個分)ご家庭でもきっと作りたくなります。



講座4 「ミツバチとハチミツを学ぶ ～ハチミツから見える石狩の自然～」

講師 尾形 優子

第1回 「ハチと花。そしてハチミツ」

日時 11月 30日(木) 10:30~12:00 ※材料費 500円
(実習) 季節ごと、蜜源ごとの石狩のハチミツテイスティング

第2回 「ミツバチの生態とその生産物」

日時 12月 7日(木) 10:30~12:00 ※材料費 500円
(実習) ハチミツで作る傷薬

第3回 「養蜂の現在とハチミツの品質」

日時 12月 14日(木) 10:30~12:00

場所 いずれも石狩市民図書館 視聴覚室

◇ 石狩で薬剤や糖液給餌に頼らない自然養蜂を実践しています。ミツバチの生態の正しい理解や知識とハチミツやプロポリスなど製品についてお伝えします。



6名の皆さんが受証されました 修了証授与式

9月20日(水)市役所ロビーにおいて第26回修了証授与式を行いました。今回の受証者は6名。授与式では加藤龍幸学長から、出席された3名の受証者一人ひとりに修了証が手渡されました。

～受証された方々(敬称略)～

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ・岸 和夫(ブロンズ/30・シルバー/60・ゴールド/90講座) | ・今井 信一(シルバー/60講座) |
| ・麻生 敬子(ゴールド/90講座) | ・高橋 憲子(ゴールド/90講座) |
| ・藤田 寿男(スーパーゴールド/150講座) | ・若林 真紀子(マスター700/700講座) |

市民カレッジの「ボランティアスタッフ」になりませんか！

市民カレッジは市民のボランティアスタッフが中心となり、教育委員会と協働で運営しています。講座づくりやPR、あい風通信編集やホームページ管理、親睦会の企画など、あなたにふさわしい活動がきっとあります。ぜひ一緒に活動しましょう！

講座の受付や会場設営などを手伝うサポーターも募集しています。詳しくは募集説明会で話します。

ボランティアスタッフ募集説明会のご案内

○日時 10月24日(火) 11:30~12:00

※15周年記念特別講座終了後

○会場 石狩市花川北コミュニティセンター

※お申込は不要です。お気軽に参加して下さい

市民カレッジデータ

(9月20日現在)

○登録者～121人

○連携団体～103団体



ロゴ制作者

丸山英里子さん

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・意見の一部を要約して紹介しています。

講座4「石狩を取り巻く地震・津波環境と防災」

「石狩市を焦点に詳細な資料での説明で大変理解しやすかったです」「具体的なデータや研究の裏付けの話で、地震、津波に対する心構えができた気がします」「津波地震に関して地域別に詳しく資料を使って説明いただき、大変良かったです」「今回の見学で自然災害の恐ろしさを実感できました」「何十年ぶりのジオパーク訪問でしたが、講師の気さくなお人柄、見識の深さを通しての説明に、周辺の地殻変動の実態を改めて知ることができて大満足です」



講座5「新北海道遊里史考」



「大変充実した内容でした。系統立て世界的歴史から性を学んでいなかった気がしましたので、有意義な機会でした」「詳しい研究成果が大変勉強になりました。また関連する歴史の掘り起こしにもなり、現代にも続く女性差別の原因の考察にもなりました」「今迄、聞けなかった北海道開拓の裏面の歴史を紹介して頂き、北海道の歴史に興味が湧きました」「遊郭を作るために寺を作っていたということを初めて知りました。開拓の裏面を、自分でも勉強していきたいと思いました」

講座6「地球温暖化とCO₂ 地中貯留の取り組み」

「初心者にも分かり易く解説いただき、内容は理解できました」「重要な講座と思うが、内容は一定の知識がないと理解が難しく、高齢者を考慮した講座としたい」「ベテラン講師の講座、詳しく大変分かり易い内容に感謝いたします」「日本での最先端技術の貴重な見学に感動しました。感謝です」「普段見学できない地中貯留実証試験の現場を見学して、地球温暖化とCO₂削減対策の理解に非常に参考になりました」



講座7「アイヌ文化を旅する」



「大変おもしろく、内容の濃いアイヌ文化のお話しに感動しました。アイヌの世界観はとても魅力があり学んでいきたいと思えます。言葉、工芸、食、毒の話は大変興味深いものでした。関根摩耶さんの魅力に引き込まれました」「アイヌ文化の考え方、世界観の一端を理解することが出来た気がする。アイヌばかりではなく、他民族の多様性をリスペクトすることが大切に思う」「一日中雨で残念でしたが、思った以上に立派な博物館で、展示作品もアイヌの人たちの工芸技法に関心させられた」

講座8「石狩歴史散歩」

「すばらしく充実した一日でした。見どころ、聞きどころ満載！語り手の豊かさは、お見事です。資料の価値も大！感動ものです。安田さん、スタッフの皆さんありがとうございました」「斬新なカラー刷りテキストに驚きました。また、現地踏査等も念入りに行われ、なにより飽きないトークに感心しました。次回の浜益方面も楽しみにしています」「魅力あふれる語り、すばらしい歴史散歩でした」「郷土の歴史を子や孫に伝えていくためにも、この講座は毎年続けてやって頂きたい」



講座9「石狩の近現代史を学ぼう」



「石狩の明治から戦後までの遅々としたじみちな生活の様子がよく理解できました。交通網のカヤの外に置かれてしまった町民たちの苦勞が思われます」「石狩の近代～現代の間の事柄が詳しくわかりました。石狩は漁業の町と思っていましたが、農業が主体とのこと、教わらなければわからないことだと思いました」「全3回、とても参考になりました。石狩市の誕生の道のりがわかりました。特に3回目は今後の生活に生かし、記憶に残したいと思えます」

講座 12「北海道の水産と漁村」



「身近な魚ですが知らなかった事が多く、漁業関係者の努力も良く分かりました。とても役立つお話だったと思います」「大変聞き易く分かり易く、何より面白いお話でした。整理された資料とメリハリのある説明で興味深く楽しい時間でした」「漁業について幅広く知ることができました」「分かり易く親しみのある説明で、日常生活に直結した水産物の現状の理解が深まりました。お魚大好きな講師の話しぶり楽しかったです。お魚いろいろ食べます！」

まちの先生企画講座1「筆ペンで味わいのある文字を描こう」

「今後の趣味等に活かせそうな、また時間的にも楽しい有意義な講座でした。また是非このような実用的な楽しい講座をお願いします。先生もとても親切でした」「筆ペンで文字を書くことがとても新鮮で楽しかったです。おのれ書のことになって、奥がふかいことがわかりました。もっとたくさん書いてみたいと思いました」「お地蔵様はむずかしいと思っていたが書いてみたらすごく楽しかった」「3回とも大変楽しく参加させてもらい、ありがとうございました」「とても楽しい時間でした。ありがとうございます」



まちの先生企画講座2「くたびれないご飯づくり」



「目から鱗の料理!! 切り干し大根に牛乳とは。サバ缶のみでダシ充分、切り干し大根のつけ汁捨てていました。とても参考になりました」「久し振りの料理実習、楽しい時間でした。鉄骨料理、早速作ってみます」「ブリの照り焼きがよかった。食わずぎらいでした。水でぬらした野菜を蒸し煮、という方法は初めてで、調理法を一つ教えて頂いた」「98才の母の面倒を見ながらの毎日ですが、今日の料理も参考に作ってあげたいです。蒸し野菜も、とても美味しかったです」

～新しくサポーターになりました～ 大原 従子 です♥

『やれる時に やれることを!!』と思い、“学び”と微力ながらサポーターとして頑張りたいと思っています。
元気だけがとりえですので、これからもよろしくお願いいたします。



～事務局ニューフェイス～ 高津 柊 です！

すでにお会いしている方も多いと思いますが、4月に入庁いたしました。講座の企画や運営のお手伝いをさせていただいております。まだ短い期間ではありますが日々サポートをさせていただくなかで、皆さまの積極的な学習への姿勢から、熱意を強く感じております。私の顔と名前を覚えていただくためにも、是非お気軽にお声がけいただけると嬉しいです。まだまだ至らない点はあると思いますが、厳しく、温かく見守っていただけると幸いです。



“夏季交流会”を行いました！

サスイシリの杜で4年ぶりに復活



8月18日(金)午後5時過ぎから、夏季交流会をサスイシリの杜で20名が参加して行いました。日頃熱心に受講されているカレッジ生も参加して会話も弾み、ほどよい天候の中で日没後7時過ぎまで交流を深めました。

交流会準備スタッフの感想「今回は雨にたたられて2回も中止、3回目ようやく実施することができましたが、みなさんの楽しそうな顔を見たら苦労も吹っ飛びました」

多くの人に支えられて～15年の歩み

いしかり市民カレッジは本年15周年を迎えました。平成21（2009）年4月23日、開校式と故田中實さんの開校記念講座「子母澤寛と厚田の仲間たち」でスタートしました。

いしかり市民カレッジは市民ボランティアと市教育委員会が協働でつくる新しい学びのかたちです。学びを通じて市民の生きがいを高め、まちづくり・人づくりに貢献し、だれでも・いつでも、学ぶことができることを理念としてきました。

当初の市民ボランティアスタッフは21人でしたが、現在まで40名を超えるスタッフが関わり、当初から9人が継続して携わっています。

2年目からは「まちの先生企画講座」も加わり、主催講座と併せて年平均20講座50回近い回数を開催してきました。累計では268講座646回（見込）となります。受講者は6年目で1万人を突破し、9年目15,000人、令和2、3年はコロナ感染拡大で多くの講座が中止、延期を余儀なくされました。そんな中でコロナ対策を講じながらカレッジを継続し、13年目2万人を突破しました。

本年8月末の総受講者数は、22,089人になりました。石狩市民6万人のまちにとっては大きな数字です。学びの認定の場である修了証は延べ387人が受証され、最高位ドクター400（2400）も誕生しました。

カレッジ生に聞く

開校当初からのカレッジ生お二人にお話を伺いました。お二人ともカレッジの精神を体現されている方でした。

◇安井澄子さんは家庭の事情で1年休むが今年から再開、「共働きと子育てで外に出る機会のなかった自分にとって、定年になってからがボランティア活動やカレッジ生として、大学の先生などの講義や野外見学などあらゆるジャンルの講座で学ぶ楽しさを知り充実した人生を過ごすことが出来ました。（感謝です）」



（石狩歴史散歩）

◇谷口勇さんは「定年を機に石狩の歴史をよく知りたいとの思いからカレッジ生になりました。思い出として田中實さんの話が好きだった」。初回の記念講座からのファイルを見せていただきました。お気に入りの講師ごとにファイルして保存しており見直すのが楽しみとのことでした。「これだけ充実している講座は他にはない」とスタッフに対するおほめの言葉も頂きました。

いしかり市民カレッジは10月24日開校15周年記念特別主催講座を開催します（1P参照）。

多くのカレッジ生とともに15年を振り返り、新たなステップにむけて歩いていきたいと思います。

藤女子大生からのメッセージ～ 市民カレッジを応援したい！

こんにちは。この度、プロジェクトマネジメントという授業の一環で、いしかり市民カレッジさんに携わらせていただいております藤女子大学の学生です。

今回「FWU-ICC プロジェクト」という素晴らしいプロジェクト名をいただき、チーム一同いしかり市民カレッジさんのちからになれるよう尽力いたします。このプロジェクトを通して、たくさんの方にいしかり市民カレッジについて知ってもらい、さらにいしかり市民カレッジを盛上げていきます！

まずはFacebookを開設しましたので、お時間がありましたら覗いてみてください！

皆様これからよろしくお願いいたします。

※ FBを開き「いしかり市民カレッジ」で検索してください。



ひろば

ISHIKARI
CITIZEN'S
COLLEGE

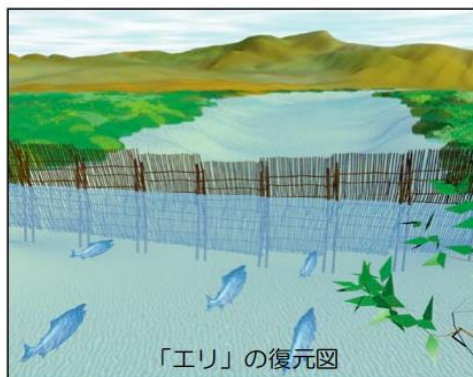
チョコっと
いしかり学
《25》

もみじやま 石狩紅葉山49号遺跡

石狩ファイル 0002-01 (2004/7/1)
発行 石狩市教育委員会

石狩紅葉山49号遺跡は、昭和47(1972)年の埋蔵文化財一般分布調査の際に発見されました。遺跡名の由来は、紅葉山砂丘のなかで49番目に発見された遺跡という意味です。この遺跡は、縄文時代前期後半から中期後半(5000年前から4000年前)、続縄文時代初頭(2000年前)、擦文時代初頭(800年前)、江戸時代後期(200年前)の各時期の遺物が出土しています。遺跡の立地は、紅葉山砂丘の南側斜面が中心ですが、一部はその内陸側の湿地にも及んでいます。

本遺跡の発掘調査は、平成7(1995)年から平成14(2002)年の8年間にわたって実施されました。発掘調査の原因は、「^{はっさむがわ}発寒川遊水地」を造成するためです。発掘調査面積は合計21,890㎡、遺物の総数は9万点以上にのぼっています。



「エリ」の復元図

本遺跡の特徴は、湿地のなかに縄文時代中期の発寒川があり、そのなかから当時の人々が使っていた木製の漁労施設と器などの生活用具が出土することです。このような湿地のなかで水浸け状態になった遺跡は「低湿地遺跡」といいます。全国的にも低湿地遺跡は100ヶ所程度と少ない上に、縄文時代中期のものは数ヶ所しかありませんので、大変稀少性のある遺跡ということが出来ます。さらに発見された漁労施設は国内でも最古級のもので、しかも10ヶ所も検出されています。このうち8ヶ所が杭などの伐採時期や民俗例からみて、サケ漁に使用されるエリと考えられます。

これまでサケの漁労施設とみられるものは2000年前ごろのエリがもっとも古い例で、本遺跡のエリはこれよりもさらに2000年古く、国内最古のサケ漁施設で、縄文時代では初めてのものです。エリの構造は、川底に打った支柱に木の枝とブドウツルで編んだ柵を立てかけるもので、近世アイヌのサケ漁施設「テシ」とほぼ同じ物と考えられます。また、遺物のなかには近世アイヌが使用した「魚たたき棒」と類似する木製品もあり、4000年前から近世アイヌ同様のサケ漁が行われていた可能性が高いと考えられます。(石橋孝夫)



〔出土した魚たたき棒〕

【参考文献】

- (1) アイヌ文化保存対策協議会(1970)アイヌ民族誌、第1法規、342-355.
- (2) 萱野茂(1984)アイヌの民具、すすさわ書房、184p.

編集後記

市民カレッジが開校して15年、前身の「学びのスタンプ」の時を含めると16年目になりました。よく続いたものです。今では道内で高く評価される存在になっていると思いますが、受講者や支援していただいた皆さんのお陰です。この市民カレッジを今後も長く継続させて行くためには、運営に携わるボランティアスタッフの存在が欠かせません。皆さん、スタッフになって一緒に活動しましょう。(MT)

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当：鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課(石狩市民図書館内)
石狩市花川北7条1丁目26 TEL&FAX: 0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)